

## 令和6年度 第1回 あきる野市障害者通所支援施設在り方検討委員会

1 日 時 令和6年7月30日（火） 午前10時から正午まで

2 場 所 五日市出張所 第2研修室、希望の家

### 3 議 事

(1) 委嘱書の交付

(2) 会議の公開について

(3) 委員長・副委員長の互選

(4) 議題

ア 希望の家の状況等について（報告）

イ 希望の家の見学

ウ 希望の家の運営に関する意見交換

### 4 会議録（概要）

(1) 委嘱書の交付（机上配付）

(2) 会議の公開について

○ 会議は、原則公開であることについて説明した。

(3) 委員長・副委員長の互選

○ 委員長に縄岡委員が、副委員長に藤間委員が選出された（※藤間委員は承諾済）。

(4) 議 題

ア 希望の家の状況等について（報告）

○ 経緯等について説明した。

・ 親の会等による五日市町（当時）への働きかけによって設置し社会福祉協議会等に委託をした。

・ 平成18年度の指定管理者制度の導入以降、令和5年度まで社会福祉協議会を指定管理者として指定した。

○ 令和4年度のあきる野市障害者通所支援施設在り方検討委員会における検討事項

・ 施設の運営形態について、希望の家等を集約し希望の家で運営する。

・ 指定管理者制度による運営を継続する。

・ 通所先が決まらない方を受入れると共に、その支援体制を整備・維持する。

○ 希望の家の現状について

・ 令和6年4月1日に希望の家とひばり分室を統合している。

・ 運営については、指定管理者制度を継続し、令和7年度まであきる野市社会福祉協議会が指定管理者となっている。

#### イ 希望の家の見学

- 希望の家に移動し、施設及び支援状況の見学を行った。

#### ウ 希望の家の運営に関する意見交換

- 希望の家の見学結果に基づき、同施設の受入体制や受入れ可能な障害の程度等について意見交換を行った。

#### 【主な意見】

- ・ 令和4年度の検討委員会では、地域で受け入れることが難しい困難ケース等を受け入れる施設にしていくようなことが考えられていたが、あのスペースで医療的ケアを受け入れることは難しいだろう。
- ・ 想像していたよりも設備が古いと感じた。
- ・ あきる野市全体のセーフティネットを考えて欲しいと思う。
- ・ 緊急時の受け入れとして、区分6の肢体不自由のケースについて、家族の突発的な不在に伴う短期入所の調整が完了するまでの間、希望の家での受け入れを依頼したところ、日中の居場所として協力の理解を得られたケースがあった。
- ・ 登録者が20人ということで、定員を満たしている状況であることから、緊急時の受け入れができない事態が生じる可能性もあるのではないかと。
- ・ 令和4年度検討委員会では、市内全体で緊急で困っている人の受け入れ先として、希望の家を中心にネットワークを作るような話もあったが、地域生活支援拠点等の整備とあわせ希望の家が担う役割や機能の再検討が必要。
- ・ 緊急時の受け入れにおいては、ある程度の支援が構築できていることが前提になる。それがなければ突発的に短期間利用することになっても対応が難しくなってしまう。
- ・ 利用者の安心のためには、社会福祉協議会が継続するのが良いのではないかとと思う。社会福祉協議会の職員のスキルアップと共に、自分達が受け入れるという意識を高めていけると良いのではないかと。関係者都合で運営を変えてしまうというのも、長く働いていた人や利用者の気持ちを考えると違うのではないかと。

#### 5 次回会議日程

日程 令和6年8月29日（木） 午前10時30分から

場所 調整中

以上